

Internship in France
フランス企業インターンシップ
(ボルドー大学)

授業科目名	フランス企業インターンシップ
科目番号	01ER801
単位数	15 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春 AB 応談
担当教員	Prof. Dominique Rolin (UB)、Prof. Michel Hernould (UB)、Associate Prof. Claudine Trossat (UB)、Associate Prof. Valérie Schurdi-Levraud (UB)
授業概要	この講義を履修した学生はフランスもしくは海外の企業・研究所等において最低 5 か月（700 時間）以上インターンシップを行う。フランスや欧州の企業風土や文化を学習することに加え、学習内容を特定課題研究執筆や就職へ活用することを目指す。インターンシップはボルドー大学と合意書を取り交わした企業リストから選択するか、もしくは学生自らが申請し、インターンシップ関連の委員会が承認した事業者において実施する。インターンシップの成果はレポートとしてまとめ、成果報告会にて発表する。
備考	ボルドー大学にて英語にて実施
授業形態	実験・実習
教育目標との関連	このインターンシップは企業・研究所等において実務業務を体験することにより、これまで学んだ知識を実際の業務に活用するスキルを習得すると共に、学生が選択した業種の職場環境に身を置くことで学生が自身の適正を見極め、その能力を磨く機会を提供することを目的としている。また、受入れ事業者側にも、訓練生への指導・能力評価スキルを向上させる機会を提供することを目指す。
授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生自身がフランスもしくは海外においてインターンシップ先を調査し、就業体験することができる。 2. 体験した業務内容と、その中で学んだことを要約し、発表することができる。 3. 「食料」と「健康」に関連した欧州地域の諸問題について理解し、それら課題とアジア地域との関連性を考察できる。更に、研究開発と社会的要請の関係性、それらを取り巻く諸問題について考察できる。 4. インターンシップ体験を特定課題研究の執筆に生かすことができる。 5. 就職活動の対象企業を見つけることができる。
授業計画	<p>インターンシップが始まる前に、学生は、担当教員・研究指導教員・メンターとともにインターンシップと特定課題研究・就職との関連について話し合う。インターンシップ先では得にくい知識や技術についてさらに学ぶ必要がある場合、これら学内教員から学習することができる。この指導時間は本科目の授業時間数に含むことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インターンシップ説明会 2. インターンシップ学習の実施 3. レポート提出ならびに報告会
履修条件	履修に当たっては、事前に担当教員と相談の上、企業側へ申請のこと。
成績評価方法（割合・評価基準・提出期限等）	レポート（50%）と報告会での発表内容と質疑応答（50%）により判定する。授業達成目標について概ねできていれば C 以上とする。評価は A+（極めて優秀）、A（優秀）、B（良好）、C（平均的）、D（落第）の 4 段階で行う。
授業外における学習方法	GLidD の G-career に取り組むこと。
教材・参考文献・配付資料等	必要に応じて適宜通知
オフィスアワー	学生は事前に問い合わせのこと。
その他（学生に望むこと等）	
関連科目	日本企業インターンシップ 台湾企業インターンシップⅠ 台湾企業インターンシップⅡ キャリアパス・セミナー
キーワード	インターンシップ、企業